

「福祉用具貸与価格の適正化に関する調査」【事業所票】（案）

■ご記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は福祉用具貸与事業所の管理者の方（事業所全体の方針や経営について回答できる方）がご記入ください。
- ・ 特に指定の無い限り、平成30年10月3日（水）現在の状況についてご回答ください。
- ・ 数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合は「0」とご記入ください。
- ・ 具体的な回答方法については、同封の「記載要領」をご確認ください。
- ・ 平成30年●月●日（●）までに同封の返信用封筒にて、返送ください。

■調査に関するお問い合わせ先

「福祉用具貸与価格の適正化に関する調査」事務局

電話：0120-●●●●-●●●●（平日10:00～17:00）

◎お問い合わせの際に、調査名をお伝えください◎

FAX:03-●●●●-●●●●

E-mail：●●●●@●●●●.●●●●

〒000-0000 東京都千代田区●●●●

問1 基本情報

(1) 開設年	(西暦) 年
(2) 事業内容	以下、いずれかひとつに✓を入れてください。 ☐ ① 福祉用具貸与・販売を専門に行っている ●→ 問2へ進んでください ☐ ② 他の事業と兼業で福祉用具・販売を行っている ☐ ア) 他の事業について（当てはまるもの全てに☑を入れてください） ☐ ① 介護・医療サービスの提供 ☐ ② 介護・医療サービス以外の一般のサービス・販売等 ☐ ③ その他（ ） ☐ イ) 事業所収益に対する福祉用具貸与・販売の割合 約 割

問2 提供サービス

(1)法人が提供しているサービス（関連法人を含む）、(2)貴事業所に併設されているサービスとして該当するもの全てに☑を付けてください。※「併設されているサービス」とは、貴事業所と同一敷地内もしくは隣接する敷地内の事業所において提供されているサービスのことを言います。

(1) 法人が 提供	(2) 事業所に 併設		(1) 法人が 提供	(2) 事業所に 併設	
<居宅サービス>			<施設サービス>		
☐	☐	1 訪問介護	☐	☐	20 介護老人福祉施設
☐	☐	2 訪問入浴介護	☐	☐	21 介護老人保健施設
☐	☐	3 訪問看護	☐	☐	22 介護療養型医療施設
☐	☐	4 訪問リハビリ	☐	☐	23 介護医療院
☐	☐	5 通所介護	<医療サービス>		
☐	☐	6 通所リハビリ	☐	☐	24 病院
☐	☐	7 短期入所生活介護、療養介護	☐	☐	25 診療所
☐	☐	8 特定施設入居者生活介護	<その他>		
☐	☐	9 居宅介護支援	☐	☐	26 サービス付き高齢者向け住宅
☐	☐	10 福祉用具販売(特定福祉用具)	☐	☐	27 有料老人ホーム
<地域密着型サービス>			☐	☐	28 養護老人ホーム
☐	☐	11 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	☐	☐	29 軽費老人ホーム（ケアハウス、A、B）
☐	☐	12 夜間対応型訪問介護	☐	☐	30 旧高齢者専用賃貸住宅
☐	☐	13 認知症対応型通所介護	☐	☐	31 地域包括支援センター
☐	☐	14 小規模多機能型居宅介護	☐	☐	32 住宅改修
☐	☐	15 認知症対応型共同生活介護			
☐	☐	16 地域密着型特定施設入居者生活介護	☐	☐	33 特になし
☐	☐	17 地域密着型老人福祉施設入所者生活介護			
☐	☐	18 看護小規模多機能型居宅介護			
☐	☐	19 地域密着型通所介護			

問3 職員体制 ※該当者がいない場合は0を記入してください。

		(1)常勤	(2)非常勤	(3)常勤換算数
職員の総数		人	人	人
(内訳)				
福祉用具専門相談員		人	人	人
	うち、保健師	人	人	人
	うち、看護師	人	人	人
	うち、准看護師	人	人	人
	うち、理学療法士	人	人	人
	うち、作業療法士	人	人	人
	うち、社会福祉士	人	人	人
	うち、介護福祉士	人	人	人
	うち、義肢装具士	人	人	人
	うち、福祉用具専門相談員指定講習終了者	人	人	人
その他の職員数		人	人	人

※ 1人の方が複数の資格を有している場合は、各資格のそれぞれの欄に重複して計上してください。

問4 貸与実績 ※平成30年7月貸与分

(1)貸与商品数、(2)貸与件数について記載してください。 ※実績がない場合は0を記入してください。

	(1)貸与商品数		(2)貸与件数	
	合計	うち、レンタル卸	合計	うち、レンタル卸
車いす	商品	商品	件	件
車いす付属品	商品	商品	件	件
特殊寝台	商品	商品	件	件
特殊寝台付属品	商品	商品	件	件
床ずれ防止用具	商品	商品	件	件
体位変換器	商品	商品	件	件
手すり	商品	商品	件	件
スロープ	商品	商品	件	件
歩行器	商品	商品	件	件
歩行補助杖	商品	商品	件	件
認知症老人徘徊感知機器	商品	商品	件	件
移動用リフト	商品	商品	件	件
自動排泄処理装置	商品	商品	件	件

(3) 価格設定の方針(複数回答可)

※ 平成30年度の介護保険制度の改正に関わらず、貴事業所における価格設定の基本的な方針について、重要と考えているものを上位3つまでの項目に☑をつけてください。

☐ ① 仕入（購入）価格を考慮して設定している	☐ ② レンタル卸の価格を考慮して設定している
☐ ③ アセスメントに係る経費を考慮して設定している	☐ ④ フィットtingに係る経費を考慮して設定している
☐ ⑤ モニタリングに係る経費を考慮して設定している	☐ ⑥ 搬入出に係る経費を考慮して設定している
☐ ⑦ メンテナンスに係る経費を考慮して設定している	☐ ⑧ 消毒に係る経費を考慮して設定している
☐ ⑨ その他経費を考慮して設定している	☐ ⑩ 利用者負担に考慮して設定している
☐ ⑪ 地域における相場を考慮して設定している	
☐ ⑫ 福祉用具情報システム（T A I S）(※)の介護保険商品詳細で公表されている最頻価格や平均価格を参考にしている	
☐ ⑬ その他の要素を考慮している	

(※) 公財) テクノエイド協会がH P 上で運用している福祉用具情報検索システム

問5 福祉用具貸与に関する平成30年度の制度改正の影響

(1) 7月貸与分の商品について、貸与価格の上限を超えた商品の有無（いずれかひとつに✓を入れてください）

☐ ① あり

☐ ② なし

●→(3) へ進んでください

(2) 「①あり」の場合の貸与実績、変更状況

※ 貸与価格の上限を超えた商品だけでなく、全ての商品について記入してください。

	10月貸与の商品数		うち、貸与価格の上限(7月公表)の価格を超えた商品数	10月貸与の貸与件数		うち、7月貸与分から価格を変更した件数		うち、7月貸与分から貸与価格の変更に伴い商品を変更した件数	10月時点で貸与価格の上限設定(7月公表)後、貸与価格の変更に伴い		
		品目			件	増額した商品の貸与件数	減額した商品の件数		貸与を終了した件数	利用者が買い取った件数	介護保険外での貸与利用とした件数
車いす		品目		件		件	件		件	件	件
車いす付属品		品目		件		件	件		件	件	件
特殊寝台		品目		件		件	件		件	件	件
特殊寝台付属品		品目		件		件	件		件	件	件
床ずれ防止用具		品目		件		件	件		件	件	件
体位変換器		品目		件		件	件		件	件	件
手すり		品目		件		件	件		件	件	件
スロープ		品目		件		件	件		件	件	件
歩行器		品目		件		件	件		件	件	件
歩行補助杖		品目		件		件	件		件	件	件
認知症老人徘徊感知機器		品目		件		件	件		件	件	件
移動用リフト		品目		件		件	件		件	件	件
自動排泄処理装置		品目		件		件	件		件	件	件

(3) 貸与価格の変更にあたり考慮した点（当てはまるもの全てに☑を入れてください）	
☐ ① 仕入（購入）価格を考慮して変更した	☐ ② レンタル卸の価格を考慮して変更した
☐ ③ アセスメントに係る経費を考慮して変更した	☐ ④ フィッティングに係る経費を考慮して変更した
☐ ⑤ モニタリングに係る経費を考慮して変更した	☐ ⑥ 搬入出に係る経費を考慮して変更した
☐ ⑦ メンテナンスに係る経費を考慮して変更した	☐ ⑧ 消毒に係る経費を考慮して変更した
☐ ⑨ その他経費を考慮して変更した	☐ ⑩ 利用者負担に考慮して変更した
☐ ⑪ 当該事業所における全ての商品の貸与価格を考慮して変更した	☐ ⑫ 地域における相場を考慮して変更した
☐ ⑬ 全国平均貸与価格を考慮して変更した	☐ ⑭ 貸与価格の上限を考慮して変更した
☐ ⑮ その他の要素を考慮して変更した（ ）	
(4) 価格変更に伴う事務負担・経費負担（当てはまるもの全てに☑を入れてください） ※作業の発生有無ではなく、負担がある（あった）項目について、☑をつけてください。	
☐ ① 商品カタログの価格修正・再印刷の発生	☐ ② 事業所内システムの改修作業の発生
☐ ③ 行政への届出	☐ ④ 利用者との契約変更手続き
☐ ⑤ 勉強会の開催や参加	☐ ⑥ その他（ ）

問6 利用者等への説明の状況

(1) 利用者・家族に説明した内容・反応（当てはまるもの全てに☑を入れてください） 以下の項目において、利用者・家族に説明した内容に☑入れ、ご理解いただいた割合を記入してください。		
	説明した 内容	理解が得られた 割合
1 福祉用具に係る制度改正について	☐	約 割
2 貸与価格の変更にについて	☐	約 割
3 貸与品目の変更について	☐	約 割
4 貸与価格の構成について	☐	約 割
5 全国平均価格と自社の価格の差異について	☐	約 割
6 貸与価格の上限について	☐	約 割
7 貸与していた商品の貸与終了について	☐	約 割
8 貸与していた商品の買い取りについて	☐	約 割
9 介護保険外の貸与利用について	☐	約 割
10 説明していない	☐	

(2) ケアマネジャーの反応（当てはまるもの全てに☑を入れてください）

☐ ① 商品についての問合せが増えた	☐ ② 価格についての問合せが増えた
☐ ③ 商品の変更が求められた	☐ ④ ケアプランの見直しを実施された
☐ ⑤ 他の貸与事業所が貸与していた利用者について、当該事業所からの貸与に変更があった	
☐ ⑥ 当該事業所から貸与していた利用者について、他の事業所からの貸与に変更があった	
☐ ⑦ その他（ ）	
☐ ⑧ 特になし	

問7 貸与価格の上限設定による経営への影響

- (1) 収益への影響※現時点での見込みでも構いません。（いずれかひとつに✓を入れてください）
平成29年度と比較して、平成30年度の収益への影響を回答いただき、その理由も記入してください。

その理由

☐	① 収益が増加した（増加する見込み）
☐	② 収益が減少した（減少する見込み）
☐	③ 影響はなかった（影響はない見込み）



--

- (2) 経費への影響 ※現時点での見込みでも構いません。
平成29年度と比較して、平成30年度の経費について費目ごとに影響を回答いただき、その理由も記入してください。

	費用への影響	その理由
人件費 (ひとつに✓)	☐ ① 費用が増加した（増加する見込み） ☐ ② 費用が減少した（減少する見込み） ☐ ③ 影響はなかった（影響はない見込み）	
フィッティング費用 (ひとつに✓)	☐ ① 費用が増加した（増加する見込み） ☐ ② 費用が減少した（減少する見込み） ☐ ③ 影響はなかった（影響はない見込み）	
モニタリング費用 (ひとつに✓)	☐ ① 費用が増加した（増加する見込み） ☐ ② 費用が減少した（減少する見込み） ☐ ③ 影響はなかった（影響はない見込み）	
メンテナンス費用 (ひとつに✓)	☐ ① 費用が増加した（増加する見込み） ☐ ② 費用が減少した（減少する見込み） ☐ ③ 影響はなかった（影響はない見込み）	
搬入出・運搬費 (ひとつに✓)	☐ ① 費用が増加した（増加する見込み） ☐ ② 費用が減少した（減少する見込み） ☐ ③ 影響はなかった（影響はない見込み）	
消毒に係る費用 (ひとつに✓)	☐ ① 費用が増加した（増加する見込み） ☐ ② 費用が減少した（減少する見込み） ☐ ③ 影響はなかった（影響はない見込み）	
その他費用 (ひとつに✓)	☐ ① 費用が増加した（増加する見込み） ☐ ② 費用が減少した（減少する見込み） ☐ ③ 影響はなかった（影響はない見込み）	

問8 仕入れ価格への影響

(1) 事業所全体の仕入れ価格（購入単価）の変化の状況（いずれかひとつに✓を入れてください）

平成30年7月貸与分の仕入れ価格と、平成30年10月貸与分の仕入れ価格の変化について回答してください。

☐	仕入れ価格が上がったものがある（下がったものはない）
☐	仕入れ価格が下がったものがある（上がったものはない）
☐	仕入れ価格が上がったものと下がったものの両方ある
☐	変動はない

(2) レンタル卸の利用の有無（いずれかひとつに✓を入れてください）

☐	① あり ● → 利用社数		社
☐	② なし		

(3) 仕入価格の変化の状況

	①事業所全体における 福祉用具貸与に関する 介護保険請求額 (税込み)	② ①の介護保険請求額 に紐づくレンタル卸へ の支払額 (税込み)	③介護保険貸与対象の 福祉用具の減価償却額	④介護保険貸与対象の 非減価償却福祉用具の 仕入れ額 (税込み)
平成29年10月				
貸与分の実績	千円	千円	千円	千円
平成30年10月				
貸与分の実績	千円	千円	千円	千円

問9 貸与価格見直しに伴う対応状況

貸与価格見直しを行うにあたり、これまでにどのような対応をしましたか。

(当てはまるもの全てに☑を入れてください)

※☑をつけた項目について、見直した内容も記入してください。

	見直した内容
☐ ① 商品の調達方法・調達先の変更	()
☐ ② 商品の仕入れ価格の調整	()
☐ ③ 商品のレンタル卸価格の調整	()
☐ ④ 貸与品目（取り扱いの範囲など）	()
☐ ⑤ アセスメント（計画書の作成含む）の方法	()
☐ ⑥ フィットtingの頻度・内容・方法	()
☐ ⑦ モニタリングの頻度・内容・方法	()
☐ ⑧ メンテナンスの頻度・内容・方法	()
☐ ⑨ 物品管理（消毒・保管・搬送）の内容・方法	()
☐ ⑩ 人員体制	()
☐ ⑪ 職員の研修・教育	()
☐ ⑫ 展示会や広報・広告等	()
☐ ⑬ ケアマネジャーへの営業活動	()
☐ ⑭ 上限を超えた商品について、利用者が買い上げ	()
☐ ⑮ 介護保険外の貸与商品の範囲拡大	()
☐ ⑯ 営業所の統廃合	()
☐ ⑰ 福祉用具貸与事業 <u>以外</u> の事業のコスト削減策	()
☐ ⑱ 福祉用具貸与事業 <u>以外</u> の収益増加策	()
☐ ⑲ その他のコスト削減策	()
☐ ⑳ その他の収益増加策	()
☐ ㉑ コスト削減策は行っていない	
☐ ㉒ 収益増加策は行っていない	

問10 介護保険制度についての意見

ご意見がありましたら、以下のカテゴリーごとに記入してください。

貸与価格の 上限設定について	
全国平均貸与価格 の公表について	
複数商品の提示 について	

調査票への回答は以上です。ご協力ありがとうございました。

「福祉用具貸与価格の適正化に関する調査」【利用者票】（案）

■ご記入にあたってのご注意

- ・この調査票は福祉用具貸与サービスにおいて、調査対象の利用者を担当している福祉用具専門相談員がご記入ください。
- ・調査対象の利用者の選定方法については、同封の「記載要領」をご参照ください。
- ・選択肢や表の中に「○」や「□」があるものには、✓をつけてください。
（○はいずれかひとつ、□は複数選択可）
- ・上記以外の箇所は、具体的に言葉や数字をご記入ください。
- ・数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合は「0」とご記入ください。
- ・具体的な回答方法については、同封の「記載要領」をご確認ください。
- ・平成30年●月●日（●）までに同封の返信用封筒にて、返送ください。

■調査に関するお問い合わせ先

「福祉用具貸与価格の適正化に関する調査」事務局

電話：0120-●●●●-●●●●（平日10:00～17:00）

◎お問い合わせの際に、調査名をお伝えください◎

FAX:03-●●●●-●●●●

E-mail：●●●●@●●●●.●●●●

〒000-0000 東京都千代田区●●●●

問1 基本情報 ※平成30年10月3日時点（(5)(6)は平成30年7月時点）

(1) 性別	☐ ① 男性	☐ ② 女性	(2) 年齢	満		歳
(3) 同居家族の有無	☐ ① 有	☐ ② 無				
(4) サービス利用開始時期	平成		年		月	
(5) 要介護度	☐ ① 要支援1	☐ ② 要支援2	☐ ③ 要介護1	☐ ④ 要介護2		
※平成30年7月時点	☐ ⑤ 要介護3	☐ ⑥ 要介護4	☐ ⑦ 要介護5	☐ ⑧ 区分申請変更中など		
(6) 障害高齢者の日常生活自立度	☐ ① 自立	☐ ② J1	☐ ③ J2	☐ ④ A1		
	☐ ⑤ A2	☐ ⑥ B1	☐ ⑦ B2	☐ ⑧ C1		
※平成30年7月時点	☐ ⑨ C2	☐ ⑩ 不明				
(7) 要介護度	☐ ① 要支援1	☐ ② 要支援2	☐ ③ 要介護1	☐ ④ 要介護2		
※平成30年10月時点	☐ ⑤ 要介護3	☐ ⑥ 要介護4	☐ ⑦ 要介護5	☐ ⑧ 区分申請変更中など		
(8) 障害高齢者の日常生活自立度	☐ ① 自立	☐ ② J1	☐ ③ J2	☐ ④ A1		
	☐ ⑤ A2	☐ ⑥ B1	☐ ⑦ B2	☐ ⑧ C1		
※平成30年10月時点	☐ ⑨ C2	☐ ⑩ 不明				
(9) 自己負担割合	☐ ① 1割負担	☐ ② 2割負担	☐ ③ 3割負担	☐ ④ 負担なし		
	☐ ⑤ 不明					

問2 利用者が受けているサービス内容 ※平成30年10月3日時点

<居宅サービス>（介護予防含む）	<地域密着型サービス>（介護予防含む）
☐ 1 訪問介護	☐ 8 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
☐ 2 訪問入浴介護	☐ 9 夜間対応型訪問介護
☐ 3 訪問看護	☐ 10 認知症対応型通所介護
☐ 4 訪問リハビリ	☐ 11 小規模多機能型居宅介護
☐ 5 通所介護	☐ 12 看護小規模多機能型居宅介護
☐ 6 通所リハビリ	☐ 13 地域密着型通所介護
☐ 7 短期入所生活介護、療養介護	

問3 福祉用具貸与の状況など

平成30年7月に貸与していた福祉用具について、7月時点の貸与価格が高い順に最大10品まで、以下の(1)～(4)について回答してください。

(1)貸与している福祉用具について

7月時点で貸与価格が高い順にNo.1～10に並べて、(1)①～④まで記入してください。（10月に取扱終了の商品については、(1)④貸与価格の欄に×（バツ）を記入してください）

さらに、(1)③7月の貸与価格が7月に公表された貸与価格の上限を超えていた場合は「(1)⑤貸与価格の上限を超えていたか」に○をつけてください。

(2)貸与価格の見直しによるサービスの変化

(1)③7月の貸与価格と(1)④10月の貸与価格が異なる場合、価格が見直されたことに伴うサービス変化の有無を数字（1:ある／2:ない／3:不明）で記入してください。

サービス変化が「1：ある」と記入した場合、(2)①～④で該当する欄に○をつけ、その具体的な内容を(2)⑤に記入してください。

※「2:なし／3:不明」の場合は(2)①～⑤の回答は不要です。

(3)貸与価格の変更に伴う貸与品の変化

7月に貸与していた商品について、貸与価格の変更に伴い10月は貸与していない商品について、貸与しなくなった理由として(3)①～④の該当する欄に○をつけてください。

※7月から同じ商品を貸与している場合は回答不要です。

(4)他サービス利用等の変化

7月に貸与価格の上限が公表されて以降、福祉用具貸与以外の①他介護保険サービス利用の変化、②同居家族の負担の変化について、それぞれ数字（1～4）で記入してください。

	(1) 貸与していた福祉用具について					(2) 貸与価格の見直しによるサービスの変化						(3)貸与価格の変更に伴う貸与品の変化				(4) 他サービス利用等の変化	
	(注) 品目は、表下の【種目の番号】を数字で記載してください。					サービス変化の有無	→ 該当するものに○をつけてください					該当するものに○をつけてください				変化	
No.	①商品コード (TAISコード又は届出コード)	②種目 (注)	③貸与価格 (円) ※平成30年7月貸与分	④貸与価格 (円) ※平成30年10月貸与分	⑤貸与価格の上限を超えていたか	1:ある 2:ない 3:不明	①フィッティングの内容・方法・頻度	②モニタリングの内容・方法・頻度	③メンテナンスの内容・方法・頻度	④問合せ対応	⑤具体的な内容 (自由記述)	①他商品への移行	②貸与終了 (回収)	③利用者が買い上げ	④介護保険外での利用	①他サービス利用の変化 1:増えた 2:変わらない 3:減った 4:不明	②同居家族の負担の変化 1:増えた 2:変わらない 3:減った 4:不明
例	90000-000099	1	1,280	1,100	○	1	○	○			月2回から1回へ変更						
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
	【種目の番号】					1：車いす	4：特殊寝台付属品	7：手すり	10：歩行補助杖	13：自動排泄処理装置	利用者票への回答は以上です。 ご協力ありがとうございました。						
						2：車いす付属品	5：床ずれ防止用具	8：スロープ	11：認知症老人徘徊感知機器								
						3：特殊寝台	6：体位変換器	9：歩行器	12：移動用リフト								